



J E M S Jiho 時報

日系人福音宣教協力会 第44巻 2012年4・5・6月

主があなたの信頼するお方

箴言3:26A

マウント・ハーモンを愛する

JEMS総主事
中馬リック師



中馬リック師とご家族

マウント・ハーモン修養会が近づいています。これはJEMSが毎年主催する最も大切な宣教活動の一つです。実際、JEMSが創立されたのは、マウント・ハーモンにおいてでした。マウント・ハーモン・コンファレンス・センターで、日系二世グループの牧師たちが祈りを共にしたのが、一九五〇年です。その三日間の修養会で、JEMSを設立することが、主イエス・キリストによって導かれたのです。マウント・ハーモンに初めて参加し、クリスチャンになった人々がたくさんいます。またイエス・キリストへの再献身を表した人々もたくさんいます。マウント・ハーモンで、生涯の伴侶にめぐり合った人達もいます。私自身

も妻と一九九四年にマウント・ハーモンで出会い、一九九六年に結婚しました。マウント・ハーモンがなければ、妻のキャシーと知り合うことはなかったでしょう。もしあなたがマウント・ハーモンに行かなかったと言われるなら、ぜひマウント・ハーモンに上ることをお勧めします。今年は無理と言われるのでしたら、来年参加することを真剣に考えてください。山の新鮮な空気を吸って、おいしい食事をいただいて、靈に充ちたメッセージを聞いて、スモール・グループにおいて、信仰による交わりを深めていきましょう。まさに地上における天国を味わう一週間なのです。

マウント・ハーモンであなたの人生に大きな影響を及ぼす何かに出会うかもしれません。私は一九八一年、高校を卒業した夏に、マウント・ハーモンに参加しました。高校の最終学年を大いに楽しんで私は、神様から完全に離れていました。だから私の両親は半ば強制的に私をマウント・ハーモン・カレッジ・キャンプに送ったのです。そこで私は自分の魂が、神様からいかに遠く離れたところを彷徨っていたかを示されました。私はキャンプの途中で電話しましたが、たまたまくなって両親に電話しました。涙が流れるままに、両親に、私が自分勝手に恥ずべき息子であったことを謝りました。一週間のキャン

プが終りに近づくにつれて、私は神様が私に問いかけておられるのを感じていました。サック、あなたは自分のための人生を選ぶのか、あるいは、私のための人生を選ぶのか。」と神様の声が聞えます。私は、山を下りて、家に帰る前に神様に応えなくてはならないと思いました。そして最後の日に行われた聖餐において、私は神様のためにだけに生きます。」と答えました。さらに四年後、神様からの招きに答え、牧師となることを決心しました。

そして二十四年後、再び神様から招きを受け、JEMSの総主事の仕事を始めることになりました。おわかりのように、マウント・ハーモンは、私とキリストの特別の関係を築く大きな役目を果たしてくれたのです。なぜマウント・ハーモンが特別なのかわかりませんが、はっきりと言えるのは、そこに神様が臨在されているということだと思います。どうか私たちに加わってください。財政的援助が必要な人達には、奨学金が用意されています。マウント・ハーモンがそこにあったから、JEMSが始まったのです。貴方にとって特別なことは何でしょうか。

それを探しに、マウント・ハーモンにお出でください。



信仰のルーツを辿って

伊藤寿子



一九七九年、ロスの友人夫婦がマウント・ハーモン修養会の帰途、我が家に寄ってくださり、マウント・ハーモンに行くことを勧めてくださいました。私はあまり気が進まないまま、両親を連れていこうという夫、直道に従って、翌年出席したのがきっかけとなり、以来三十三年修養会に参加してきました。その初めての修養会で示されたのが、あなたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、(ヨハネ十五章十六〜十七節) という御言葉でした。

チャンとなりません。私達の信仰のルーツを辿っていくことは、神様からいただいた祝福を新たに知る旅となることを願うのです。

直道の曾祖父

日本史にわずかですが記されている直道の曾祖父 父方の祖母の父) 吉岡弘毅は、明治三年に外務権少丞 (つようじょう) として朝鮮に赴任、そこで漢訳の新旧訳聖書を読み、何をおいても聖書が真理であるならば世に普及する必要あり」と示され、官を辞しても徹底的に真理追究に身を委ねたいと願い、帰朝命令を機に辞職。キ



直道兄と寿子姉夫妻

リスト教研究に身を委ね、明治八年に東京新栄教会にて夫婦で洗礼を受けました。当時の洗礼志願者は、信仰を試すため、政府からの捕縛、斬首の刑を受ける覚悟があるかを問われ、命がけであったといえます。曾祖父は受洗の際に位階勲などを返上し、余生を神に捧げ、私財を投じて本郷日本キリスト教会の創立に努め、初代長老として働きました。また独学で神学を学び、大阪で自給伝道師として

働き、按手礼を受けて後、高知、京都、伊賀で牧会、最後に葉山にて天に召され、伊藤家父方の信仰の礎を築きました。

直道父方祖父

明治元年 (一八六八年) 生まれの直道父方の祖父は、明治学院神学部卒業後、金沢、高知で伝道。そして和歌山の田辺教会に赴任、紀伊半島全土を巡り伝道に励み、特に幼児教育に力を注ぎ、串本幼稚園を創立しました。田辺教会青年部からは、日本初のクリスチャン総理、片山哲氏が生まれ、祖父召天後、片山氏筆による墓碑が生くる日の限り伝道せる老牧師、伊藤貫一先生の恩寵「一生」と刻まれたといえます。上州沼田藩士であった祖父の両親も息子の伝道開始と同時に受洗したとのことです。

直道母方の祖父

母方の祖父、森田金之助は、明治三十二年 (一九〇〇年) に明治学院神学部を卒業。ニューヨークのオバイン神学校に留学。卒業後、大阪神学院教授、教頭に就任。そしてウイルミナ女学院 現在の大阪女学院) の院長となり、三十五年女子教育に尽くしました。同時に東大阪の小坂教会を牧会し、直道はこの祖父から受洗しました。また金之助を育てた祖母は、江戸時代終りのインテリ女性で、明治五年にヘボン博士から横浜の美普教会で洗礼を受けたということです。金之助の名言として、身代わ

りごっこで小キリストになれ。」地上での一日一日に最善をつくせ。そこに永遠の命につながる。」などが遺されています。

直道の父

牧師三代目の直道の父、道夫は明治学院神学部を卒業し、千葉の木更津教会で牧会、サンフランシスコの神学校留学中にワトソンビル長老教会で奉仕後、日本に帰国しました。戦後再び招かれ、北カリフォルニア・ワトソンビル、サリナス、モントレイで巡回伝道に励みました。当時日本から多くの農業実習生が滞在しており、JEMS最初の宣教師であり、スタンフォード大学留学中の羽鳥明先生も駆けつけてくださり、畑の中、みかん箱の上に立って伝道をしたと聞いています。父の書 生きて働く信仰」にも記されているように、直道はすべて 仕方ある」主に御委ねし、主と共に歩むことを教えられたようです。直道の母は、子供の心を上手に掴む幼稚園の教師を長年勤めながら、父の牧会を背後で支えておりました。

寿子の母方の祖父

母方の祖父、井上恵之助は、慶応三年に生まれ、おそらく新島襄ゆかりの安中教会でキリスト教に入信しました。明治二十年、郷里群馬県高崎から京都まで、野草で飢えをしのぎながら歩いて、救世

(次ページに続く)

軍の山室軍平と同時代に同志社神学部に入學。卒業後は下関バプテスト教会に招聘され、長府女学校などでも教鞭をとり、その後渡米しました。清貧を貫いた生き様は聖人のようだと言われていたと、母からよく聞かされました。墓石には、弟子の足を洗ったイエス（ヨハネ十三章十四節）というみ言葉が刻まれています。

祖母、千代は、二代目クリスチャンで、福井の日本赤十字社篤志で看護学を終業、看護婦として日露戦争での功績により賞状を授与されました。

寿子の父

私の父、谷津利一郎は留学生として、ユタ大学とロスのUSCで経済学を学び、一九二七年に卒業、二年後に母、協子の家族が属するロスの合同教会で結婚しました。父は伝道師にならなかったのが惜しいくらいに東北弁の話しは人を引きつけ、サンデースクールの奉仕を楽しんでいたようでした。宮城県石巻出身の父は、一九三二年に南加宮城県人史を書き残しています。母は十代から子育てが始まる前まで、声楽家として活躍、教会でも賛美の御用をしていました。我が家の娘婿の曾祖父も牧師をしており、一九〇〇年代初期に北加や南加で伝道・牧会に携わり、他にも婿の親族にも牧師がいて主にお仕えしてきました。私の母方の伯父は合同教会の長老として長

年仕え、信徒自らの手でレンガを積み、旧教会堂を建てた一人だと聞いています。伯母も奏楽者として、奉仕に心を注いだ人でした。

一九六二年、私は合同教会でもたれた本田弘慈師の集会で、恵みの御座に導かれ、その後受洗にあずかりました。私と直道は合同教会の友愛会で知り合い、結婚に至りました。私にとっては、すべてが不思議に思われます。目に見えない糸で主は、私達家族を網の目のように繋ぎ合わせてくださっているのです。私達家族の過ぎし日々を思うとき、背後に先代達の篤い祈りがあったことを感じるばかりです。今、孫がいて、私達祖父父母は信仰の継承が大きな祈りの課題です。最近、直道の甥達、十代の二人が受洗し、伊藤家にとって、七代目クリスチャンが誕生しました。

信仰の弱い、取るにたりない小さな者を主の憐みの中においてくださったことを心より感謝し、すべての栄光を主に帰するのみです。私達の主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。このキリストに、栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように。アーメン

第二ペテロ三章十八節
(サンタクララバレー日系キリスト教会)

第六十三回

JEMSマウント・ハーモン修養会

主があなたの信頼する者であり

箴言三・二十六A

七月一日(日) 7日(土)

マウント・ハーモン

クリスチャン・センター

北カリフォルニア・サンタクルーズ郊外

朝の集会

午前九時十分～十時十五分

黒田 朔師 連続聖書講義

今、信仰によって生きるとは

―アブラハムの生涯を通して

【分科会】

午前十一時十分～午後十二時十分

テーマ別によるセミナー

講師は参加牧師・伝道師の先生方

【夕方の集会】

午後七時～八時三十五分

七月二日(月) 鍵和田哲男師

三日(火) 藤井肇師

四日(水) 島田直師

五日(木) 宣教大会

六日(金) 黒田朔師

不堀英郎師ピアノコン

七月三日(火)

午後一時三十分



感動

中尾照代

創世記から黙示録まで

聖書を残らず書き写した

友人の母君

ていねいな美しい文字で

何冊も何冊ものノートに

聖書は一つのことばでも

魂の底まで

満ちあふれるものを

持っているのに

聖書を一文字一文字

丹精こめて書き写した

その数年の日々

その魂はどれだけ

天のもので満たされた

ことでしょうか!

長年仏教徒だったその方は

晩年イエス・キリストを信じて

天に召されるまでの間

毎日毎日ことばを書き写して

隠れた真の幸いを味わいながら

遂に聖書のすべてを

自分のノートに書き写し終えた

それから天使たちに招かれて

みことばの光の中を

しずしずと天に昇って行かれた

愛する主が

両手を広げて待っておられた

詩集「時」から



東北震災地へー ボランティアとして

森 礼子

二〇一二年三月十一日午後二時四十六分、サイレンが鳴り響き、気仙沼第一バプテスト教会跡地に、様々な国々からやってきた宣



教会跡地に
立てられた十字架

教師やボランティアの方々と共に輪になって、涙を流しながら黙禱を捧げました。一瞬のうちに命を落とされた被災者達への哀悼の祈りを終えた時、私の東北震災への一年間の心の悲しみに終止符を打つことができました。あなたが泣く時を被災者のために祈る時としなさい。」という神様の御声が冷たい風のなかで聞こえてきました。私は米国籍をとつて、十年位になります。テレビなどで震災の映像を見ながら、自分が日本人であることをこれほど強く感じたことはありませんでした。親しい人々に被害を受けた方があったわけでもなく、東北を訪ねたこともなかったのに、心は涙で一杯になり、どうにかして被災者達のお手

伝いのできたらと願う日々でした。

この度、遂にその機会が与えられました。六十六歳、八十五パウンドという細身の身体、しかも温暖なロサンゼルスからいまだ厳しい寒さの東北に向うのは大変と、周囲の方々がいきりに心配してくだされいます。けれども、本人は心配どころか、何かキラキラと光って見える東北の地に早く行きたくて、神様の御業が見えるような気がして、心をはやらせて出発しました。

ほんの一週間の滞在で、実際にどれほどお手伝いできたのかわかりません。目下、被災者の方々は避難所から仮設住宅に入られて、プライバシーは守られるようになりました。しかしお一人お一人は現実には直面することによって、悲しみ、苦しみ、痛み、不安が一気に押し寄せてきている状況に置かれていのです。被災者達に一番必要なことは、彼らの心の中にあるものをすべて吐き出させてさしあげること。そして、それを差し上げられるのは、同胞である日本人であることを知りました。震災直後から、多くの国々からたくさんボランティアが来てくださり、計り知れない働きをしてくださっています。私よりも丁寧な日本語を話される方もたくさんおられて驚きました。被災者を楽しませてあげたいと、北国の春を上手に歌ってくださいったノルウ

エーから来たきれいな若い女性。美味しいワッフルを焼いてコーヒーといっしょにご馳走してくれたアメリカの青年。流暢な日本語で皆と温かい交流をされていたドイツの宣教師・・・本当に頭のさがる思いでした。日本人として感謝で一杯です。

しかし、被災者達が心の中を安心してさらけだして話すことができきる相手は日本人のボランティアなのです。私は、ほんの二、三人しかお交わりをできませんでしたが、もっともっと話を聞いてさしあげたかったと心から思います。目に見える瓦礫は片付いても、沿岸に引き取り手を待って、山積みされていきました。被災者達の心の中にはまだまだ悲しみの瓦礫が山



CRASHのボランティアの人達
右から3人目が森姉

のように積み上げられているのです。仮設住宅に住んでおられるということは、最小の被害としても、

あっという間に家ごとごっそりと無くなってしまったということ。人生の思い出が沢山つまった家が・・・その上愛する家族を亡くされた方、心の支えだったベツトたちも・・・心の準備が無いうちに・・・一瞬のうちに。

想像を超えるすさまじい経験をされた方々を私は決して忘れてはいけないと心に刻みました。彼らに平安な心が与えられるように祈りました。悲しむ者とともに悲しんでくださる「神様、イエス、キリストが今も居られるということ」を伝えていく以外に道はないと深く心に思うばかりでした。

短期のボランティアの働きは『点』であり、たくさん集まった『点』を『線』にしていくのが長期のボランティアの働きである。というある宣教師の励ましに納得するしだいでした。

私のはたことは本当に小さな点にすぎないものでしたが、これからの被災者への祈りを通して、点」が一日も早く「線」となると、その線の先には、キラキラと輝くお一人お一人の笑顔が見られるようになることを願っております。

雪のなか、風邪もひかず、元気一杯に、東北で過ごせるように私のために祈ってくださいました皆様のお祈りを心から感謝いたします。ウエストLA・ホーリネス教会

近況報告

JEMS 日語部 コーディネーター

藤本三奈子

小学六年生の長男が補習校の国語の授業で、「二人っ子と兄弟姉妹がいるのとどちらが良いか」というテーマで討論会をし、一人っ子側についたと言います。理由を聞くと、二歳下の弟にいつも邪魔をされ、迷惑をこうむっていることを切々と訴えてきました。弟がいてよかったことも一杯あるでしょ。」と彼に問いかけながら、きつと一人っ子は兄弟姉妹がいた方がいいと主張したに違いないと思いました。

こんなことをいろいろと思いついて考えると、神様の恵みについて考えさせられました。私達は自分の持っていないものに目を奪われ、他の人々を羨ましく思い、日々主から与えられている恵みに気がつかないで生活をしていることがなんと多いことでしょう。主は常に私たちに最善を与えてくださっていることを感謝し、この恵みを主の栄光のために用いることができるようにと願っています。

今年、マウント・ハーモン修養会において、長男は初めて弟と別れ、一人でジュニア・ハイ・キャンプに参加します。キャンプ後には、彼からどんな反応が返ってくるのでしょうか。楽しみです。

JEMS に新宣教師

前田のぞみさんが宣教師として JEMS の宣教活動に加わりました。前田師は、日本出身で、長らくシアトルに住んでおられました。前田師は、一年間、東北の人々を助け、奉仕するように、神様からの招きを受け、八月に日本へ発つ準備を進めています。どうか彼女の働きのためにお祈りください。また経済的サポートをしてくださる方は、JEMS までご連絡ください。

JEMS 創作アート・チーム

八月一日から十四日まで、二〇一二 JEMS 創作アート・チームは、日本宣教旅行に向い、日本各地の教会やコーヒー・ハウスや敬老ホームなどを訪れ、伝道活動を行います。このアート・チームは、フラ、ラップ、ヒップ・ホップなどのダンス、絵画、工芸、各国の料理、音楽、歌、スポーツなどの分野を通して、人々に福音を伝えていきます。ご自分の賜物を生かし、神様に奉仕されるよき機会です。関心がある方は、JEMS までご連絡ください。

Lowell Sue LowellSue@jems.org

七月八日に予定されていましたが、宣教会北米同胞をキリストへはキャンセルとなりました。

第 5 回南加 RJC 研修会

(Reaching Japanese for Christ)

日時：2012 年 9 月 29 日(土) 8:30AM—4:00PM

場所：ガーディナ・バレー・バプテスト教会
1630 W. 158th St., Gardena, CA 90274

講師：G V B C 牧師 大里英二師
JEMS 総主事 中馬リック師

費用：\$35 学生：\$20

登録〆切：9 月 16 日 以後 \$5 追加

申込み：bitly.com/rjcsocal2012

問合わせ：JEMS 213-613-0022



編集後記

新緑が町の木々をおおい、爽やかな涼やかな風がからだを包みこむようにして吹き抜けていきます。その心地よさにしばし仕事の手を休めて、こんな季節を用意してくださる神様に感謝するのです。

伊藤寿子姉の「信仰のルート」を読んでいる、神様の業を称えずにはいられません。わたしは終りの事を初めから告げ、まだなされない事を昔から告げて言う、わたしの計りごととは必ず成り、わが目的をことごとくなし遂げる」と。オザヤ四十六：二〇）私達一人一人への主の計りごとが成就されますように祈ります。

西原黎子

JEMS 巡回宣教師 小堀英郎師伝道スケジュール

7月1日(日)11:15AM	サンタクララバレー日系キリスト教会	中尾師 408-377-1017
7月1日(日)~6日(金)	マウント・ハーモン修養会	
7月7日(土)10:00AM	サクラメント聖書教会	藤井師 559-449-1077
7月8日(日) 2:00PM	ノースフレズノ教会ジャパニーズ・チャペル	藤井師 559-449-1077
7月11日(水)7:00PM	カナン・プレスビテリアン・チャーチ	北野師 310-370-5500
7月12日(木)7:00PM	ジャパニーズ・ジュビリー・コミュニティー・チャーチ	北野師 310-370-5500
7月13日(金)8:00PM	パサディナ・プレスビテリアン・チャーチ	北野師 310-370-5500
7月15日(日)2:00PM	ゴスペル・ベンチャー・インターナショナル・チャーチ	前原師 310-279-9444

JAPAN AFFILIATES

Dr. Akira Hatori-TV Radio Evangelist
 Rev. Nobumichi Murakami-PBA Radio/TV
 Rev. Timothy Himei-Soden,JEMS Japan Coord.
 Rev. Paul Ariga-All Japan Revival Mission
 Rev. Yoshihiro Kishi-Mission 2001
 Rev. Tadao Ogawa-Social Worker
 Nao & Barbara Hanada-Director of AiGJ
 Josh Sasaki-Music, Japan
 Hideo Kobori-Music,Japan
 Burton/Kathryn sue
US AFFILIATES
 Rev. Chandler Im-Billy Graham Center
 Rev. Sidney Amy Iachica John

JAPAN MISSIONARIES

Gayle Gutierrez-Machida
 Michael & Chris Mason-Sakai City
 David Mills-Yokohama
 Lily Suzuki-Amakusa
 John and Kazumi Van Farowe-Nagoya
 Nozomi & Kevin West-Nagoya
 Anne Winters-Omochanomachi
JEMS BOARD OF DIRECTORS
 Larry Kuromiya-President
 Tony Kim-Vice President
 David Akiyama-Treasurer,
 Don Yamagishi-Secretary
Members at Large: Stan Date,
 Bob Matsushima, Donna Mukai,
 Greg Oda

JEMS ADMINISTRATION

Rev. Dr. Richard Chuman-Executive Director
 & Minister at Large
 Mary Tabuchi-Office Administrator
 Daichi Tsuruta-Senior Accountant
 Megumi Sasaki-Accounting Assistant
 Darryl Wong- Missions Administrator
 Rev. Sam Tonomura-55 Plus, Men 4 Missions
JAPAN MISSIONS
 Rev. Dr. Richard Chuman-Interim Director
SOUTH AMERICA MISSIONS
 Rev. John Katagi-Director
 Justine Morey-Missions Coordinator
AACF ADVISORY BOARD
 Bruce Chow, Rev. Kevin Hayashida,

AACF CAMPUS MINISTRIES OF JEMS

Interim AACF Director-Leadership Team
 Leadership Team-Rev. Melanie Mar Chow, Rev. Victor Quon
AACF CAMPUS MINISTERS
 Chong Ahn, Dana Chau, David Fong, Arnie Ong
AACF VOLUNTEER CAMPUS MINISTERS
 Bruce Chow, Ashley Donald, Evelyn Fan Encarnacion, Nathan Fong, Karen Freese, Monica Gon, Warren Hino, Ed Kwong, Adrian Li, Jonathan Liu, Mark Quan, Rev. Carolyn Shimabukuro, Jesse Terasaki, Anthony Yuen,
AACF RESOURCE
 Ed Lee, Ming Lee, Young McCann, Alan Oda,

MUSIC AND MEDIA

Lowell E. Sue-Director
NICHIGO
 Minako Fujimoto-Coordinator
PACIFIC NORTHWEST (STATE OF WASHINGTON)
 Rev. Carolyn Y. Shimabukuro-PNW Director
SENIOR & MEN 4 MISSIONS
 Rev. Sam Tonomura-Director
SPORTS AND RECREATION
 Matt Asami-Director
 Marc Takamine-Resource
JEMS JOURNAL
 Emily Okada-Layout & Graphic Designer

JAPANESE EVANGELICAL MISSIONARY SOCIETY**948 East Second Street****Los Angeles, CA 90012****213.613.0022, 213.613.0211 FAX****E-Mail: info@jems.org www.jems.org****RETURN SERVICE REQUESTED**

(ADDRESS LABEL)

**ジャーナル・時報のEメール配信**

E-mail アドレスを info@jems.org までお知らせください。又は下記にメールアドレスをご記入の上、同封の封筒にて JEMS まで、郵送ください。

名前：

住所：

E-mail アドレス：

第 26 回 JEMS ワーム・ビーチ修養会**2012年8月16日～19日****「望み 解放」**

へブル人への手紙 6 : 19

真の信仰の体験とみことばに
 耳を傾け、共に交わり、信仰と奉仕へ
 新しい一歩を踏み出していく

8月17日(金)夜・19日(日)朝

日本語メッセージ：

黒田 撰 JCFN 主事

詳細：www.jemspnw.org